

英語

I

■出題のねらい

日常的な会話の内容を正確に理解できるかを問う問題です。2人のやりとりの流れを見失わないようにしながら、細かい情報を読み取ります。テーマは「動物園」ですが、2人の共通の思い出と現在の動物園の状況などを正確に把握することが求められています。

■採点講評

動物園という馴染みのあるテーマだったからか、全体的にどの問いも比較的よくできていました。ただ、(2)では問題文の「～に入らないもの」という指示をきちんと読んでいなかった受験生が多かったようです。[4] は、Rachel と Monica それぞれの発言内容をしっかり把握していないと正答にはたどりつけません。会話文ですから複雑な構文は出てきませんが、だからこそ2人の個性や経験を整理しながら読み進めるよう注意しましょう。

II

■出題のねらい

架空の唐辛子ミュージアムの案内を読み、その内容を正確に理解する力を問う問題です。自分自身の体験や一般的知識に頼らず、このミュージアムでのルールや注意点に関する情報をきちんと読み取りましょう。情報はほとんどが項目ごとに整理されて提示されていますから、落ち着いて各問で求められている情報を探していきましょう。

■採点講評

全体的によくできていましたが、[8] と [10] の正答率が低かったです。[8] の正答は①ですが、“Sampler”と似た“sample”という語があるせいか、③を選んだ受験生が多かったようです。また [10] の正答は①ですが間違っ②を選んだ受験生が多かったです。ガイドツアーの回数などは問題として問われることが多いポイントですから、注意して確認するようにしましょう。単語だけを拾い読みするのではなく、じっくりと本文を読み込み、「最も適切なもの」を選ぶことが必要です。

III

■出題のねらい

グラフに示される補助的情報を踏まえつつ、ポイントとなる英文の内容を的確に読み取る力を問う問題です。人口増加率に比べて、美容室の店舗数増加率が著しく高い状態が続いているという近年の東京都の状況を把握しながら、激しい競争を勝ち抜くために各美容室がどのような特徴を打ち出しているのかについて、重要な要素を整理しながら読み進めましょう。特定のサービスに特化することが安定した顧客確保につながるというアイデアやそのノウハウなど、英語の知識だけでなく、ビジネス上の一般的なエピソードも容易に理解できるよう、日頃から幅広い視野を獲得しておくことが求められます。

■採点講評

英文の内容については多くの受験生が理解できていたようでしたが、との正答率が低かったです。の正答は①ですが、②や③を選んでしまった受験生が多かったようです。語尾を変化させるだけで、単語の意味は大きく変わります。語彙力強化のためにも似ている単語ほど注意して覚えるように心がけましょう。また、はこの文章のまとめとも言えるキーワードを選ぶ問題です。その意味で、より読解力が求められる問題となっています。

IV

■出題のねらい

マイクロチップを人間の体内に埋め込むというトピックです。大阪にあるIT企業の社長や、ストックホルムにある施設のスタッフのように実際にマイクロチップを体内に埋め込んでいる人たちの話が出てきます。その一方で、日本においては、近距離無線通信（NFC）規格の違いや儒教的な価値観により、海外に比べてその技術に遅れが生じているという大筋をしっかりと捉えられるかがポイントです。論理的に推測して正答を導き出す問題もありますので、文章の前後をしっかりと読み、内容を把握しながら読み進めましょう。

■採点講評

受験生にとって身近なテーマとは言えませんが、全体としての正答率は悪くありませんでした。ただ、は正答率が25%未満と低かったです。ここでは直前の“However”を手掛かりに、前の文とは逆の内容がくることを予想する必要があります。また、とを両方正しく選択できた受験生は30%ほどでした。このタイプの問題では、各選択肢の内容を、英文の該当箇所を探してひとつひとつ確認していくことが必要です。英文が長いので探すのが大変ですから、時間配分にも気をつけましょう。

V

■出題のねらい

「文化」とは何を指すのかを説明した英文です。登場する単語自体はごく簡単なものが多いですが、扱っている主題が抽象的な概念であるため、内容を整理しながら読んでいく必要があるでしょう。挿絵が理解の手助けになるかもしれません。並べ替え問題 では、同じ語が複数回出てきますので、文意と文法をよく考えて正答を導く必要があります。

■採点講評

並べ替えの問題に苦戦した受験生が多く、 ~ に関しては正答率がどれも30%未満でした。正しい文章は以下のようになります。

- which he or she considers his or her own
- conflict which must be managed
- be said to be similar to

単語は決して難しいものではありませんから、基本的な構文と文法の知識をもう一度整理・確認しておきましょう。